

第7回市民参加推進委員会 会議録（概要）

- 1 日 時 平成25年8月27日（火）午後3時～午後5時
- 2 場 所 流山市役所第2庁舎304会議室
- 3 出席委員 井原委員長、吉永副委員長、今村委員、上平委員、梅谷委員、野路委員、国府田委員、和田委員、山梨委員
- 4 欠席委員 山中委員
- 5 事務局 井上部長、今井課長、須郷課長補佐、竹之内係長、川崎主事、内田主事
- 6 協議事項
 - (1) 答申について
 - (2) その他
- 7 今後のスケジュール
 - (1) 平成25年度の委員会は終了。
 - (2) 平成26年度の委員会は5回を予定している。事務局の案として、平成25年度の市民参加条例対象事業に対する条例運用についての評価を提示。
 - (3) 平成26年度の委員会の運営
 - ア 平成26年度市民参加条例予定対象事業に対する担当課との意見交換会
 - イ 平成25年度市民参加条例対象事業の評価
 - ウ 平成26年度委員会運営にあたっての要望
 - ・評価シートについては、委員会の意見を踏まえた事務局で案を作成。
 - ・市民参加条例対象事項、対象外事項について、総合計画等と照らし漏れがないかチェックする。事務局で確認の上、結果を報告する。
 - (4) 平成25年度の対象事項について、「実施シート」を作成後HPで公開する。
- 8 協議内容（結果等）
 - (1) 答申作成にあたり、各委員からの主な意見・要望等は別紙のとおり。

- ・それぞれの担当課からの資料が不十分だったため、ヒアリングがなければ評価できなかった。
- ・評価シートや答申の内容を平成25年度の事案に反映して欲しいという強い思いがある。
- ・担当部署が、なぜその市民参加の方法を選択したのかという理由が不明確であった。
- ・書き方によって、パブリックコメントが意見提出しやすい手法のように捉えられてしまうとパブリックコメントを必ずやる必要がでてきてしまうため、言葉を選ぶべきである。
- ・答申(案)P,2(2)において、パブリックコメントを先にやるか、意見交換会を先にやるか、それとも同時期に実施するかが議論になっているが、これは事業によってかわるものであり、今後工夫が必要である。
- ・意見交換会に参加した人の話だが、自分が意見する時間がなかったそうだ。そうした方がパブリックコメントで意見を提出する可能性もあるので、市民参加の実施する時期についてはよく考えるべきだ。
- ・小中併設校事案のように予算も大きく影響する場合は、他部署との連携を図るべきだ。
- ・市民参加の方法「その他の効果的と認められる方法」について、委員会の中で具体的に話し合うことができなかったので、答申の中で無作為型抽出アンケート等新たな手法について言及することに抵抗を感じる。
- ・「政策形成」という言葉が、具体的にどの段階なのかわからない。
- ・委員会としては、現在の評価基準(適切である・概ね適切である・不適切である)の「概ね適切である」をプラス評価だというように捉えられることを懸念している。そのため、次年度からは「1・2・3・4」「A・B・C・D」のように評価基準の変更を検討したい。
- ・タイトルをわかりやすいものにするだけでなく、事業の説明についても解説書を作成するなど工夫を求めている。
- ・条例ができたことで、手続きが明確になったことは評価できるが、市民参加が進んだとは思えない。
- ・将来的に、進行中の事案に対し、こういった市民参加の手法が適しているのか委員会と担当課で議論する場を設けたい。